

最終承認者

製作・承認者/ブロック入力/マルチフォーム
アクセシビリティガイドライン確認

所属名：市民協働推進担当
名前：市民協働推進担当承認者



MENU > 一覧 > 回答一覧 > 統計情報

マルチフォーム統計情報

フォーム内容

タイトル	アンケートにご協力お願いします
概要	公共の授業での2箇月間の取組、お疲れ様でした。 今回の取組は、まちの将来を担う高校生の皆さんが身近な社会課題について考える機会を持つことで、行政を身近に感じたり、社会課題に関心を高め市民参加につなげることを目的として、試行的に実施したものです。 皆さんの意見が今後の展開を考えていくうえで大変貴重なものとなります。今後の参考とさせていただきます。 ※設問1～5は、この授業を受ける前と後を比較してご回答ください
公開期間	2023年11月10日 00時 ～ 2023年12月01日 00時
発信組織	総合企画局／総合政策室／市民協働推進担当
発信者名	市民協働推進担当承認者

回答日時2023年11月11日 (カレンダー) ～ 年 月 日 (カレンダー)

回答区分

検索

フォーム統計

回答数：75

抽出条件：

1

自分自身の身近なまちの課題に関心を持つようになりましたか

回答	回答数	%	
<u>そう思う</u>	22人	29%	まあそう思う 45人 60% そう思う 22人 29% どちらともいえない 6人 8% あまりそう思わない 1人 1% そう思わない 1人 1%
<u>まあそう思う</u>	45人	60%	
<u>どちらともいえない</u>	6人	8%	
<u>あまりそう思わない</u>	1人	1%	
<u>そう思わない</u>	1人	1%	

2

行政が行っている様々な施策に関心を持つようになりましたか

回答	回答数	%	
<u>そう思う</u>	10人	13%	まあそう思う 48人
<u>まあそう思う</u>	48人	64%	

			64%
			そう思う
			10人
<u>どちらともいえない</u>	10人	13%	13%
			どちらともいえない
			10人
<u>あまりそう思わない</u>	4人	5%	13%
			あまりそう思わない
			4人
			5%
<u>そう思わない</u>	3人	4%	そう思わない
			3人
			4%

3

行政が行っている様々な施策に意見を言ったり、参加してみたいと思いますか

回答	回答数	%	
<u>そう思う</u>	6人	8%	
<u>まあそう思う</u>	14人	19%	
<u>どちらともいえない</u>	40人	53%	
<u>あまりそう思わない</u>	12人	16%	
<u>そう思わない</u>	3人	4%	

4

設問3で「そう思う」「まあそう思う」を選んだ方は、どのような施策に意見を言ったり、参加してみたいと思いますか。具体的にあれば記載してください

項目	回答数	有効回答数	内容表示
具体的に記載してください1	75人	15件	回答内容表示

5

地域のまちづくり活動（行政が行っているもの以外 例：地域の清掃活動、お祭りの運営など）に参加してみたいと思いますか

回答	回答数	%	
<u>そう思う</u>	6人	8%	
<u>まあそう思う</u>	17人	23%	
<u>どちらともいえない</u>	40人	53%	

<u>あまりそう思わない</u>	9人	12%	12% そう思う 6人 8% そう思わない 3人 4%
<u>そう思わない</u>	3人	4%	

6

設問5で「そう思う」「まあそう思う」を選んだ方は、どのような活動に関心がありますか。具体的にあれば記載してください

項目	回答数	有効回答数	内容表示
具体的に記載してください1	75人	22件	回答内容表示

7

今回のような授業を行うことは、高校生の皆さんが、将来行政の様々な施策に意見を言ったり、参加することにつながると思いますか

回答	回答数	%	
<u>そう思う</u>	23人	31%	
<u>まあそう思う</u>	43人	57%	
<u>どちらともいえない</u>	7人	9%	
<u>あまりそう思わない</u>	1人	1%	
<u>そう思わない</u>	1人	1%	

8

行政の施策に、より一層市民の方に意見を言ったり、参加していただくために必要なことは何だと思えますか。自由にご記入ください

項目	回答数	有効回答数	内容表示
具体的に記載してください1	75件	75件	回答内容表示

9

その他、今回の授業全体を通じてのご感想やご意見など、自由にご記入ください

項目	回答数	有効回答数	内容表示
具体的に記載してください1	75件	75件	回答内容表示

[MENU](#) > [一覧](#) > [回答一覧](#) > [回答詳細](#) > フォームテキスト統計

マルチフォーム統計情報

フォーム内容

タイトル	アンケートにご協力お願いします
概要	公共の授業での2箇月間の取組、お疲れ様でした。 今回の取組は、まちの将来を担う高校生の皆さんが身近な社会課題について考える機会を持つことで、行政を身近に感じたり、社会課題に関心を高め市民参加につなげることを目的として、試行的に実施したものです。 皆さんの意見が今後の展開を考えていくうえで大変貴重なものとなります。今後の参考とさせていただきます。 ※設問1～5は、この授業を受ける前と後を比較してご回答ください
公開期間	2023年11月10日 00時 ～ 2023年12月01日 00時
発信組織	総合企画局／総合政策室／市民協働推進担当
発信者名	市民協働推進担当承認者

回答数：75

抽出条件：

回答内容

[<<] 1 [>>] 全15件中1件目～15件目

設問4

設問3で「そう思う」「まあそう思う」を選んだ方は、どのような施策に意見を言ったり、参加してみたいと思いますか。具体的にあれば記載してください

具体的に記載してください

自分たちの街なので考えたいと思う
調子乗んな
他県と比べて公共交通機関の料金が高いところ
京都市の観光に関する環境問題。ゴミのポイ捨て、ゴミ箱の数、スマートゴミ箱について。
自分自身が京都市内で遊ぶ際にも、有名な観光地に行くことは多かったけれど、地域によって穴場と言われるような観光地への分散や新しい魅力のPRを見て、行ってみたいと思いました。
京都のふるさと納税について、特典を拡充するなどの改善をもっと積極的に行うべきだと思う。
市の人がどんな取り組みをしてるのかを市民にもっと伝える政策
高さ制限や民泊など自分の地域に関係するもの
新幹線が通る
観光地の価格の上昇や地域の人々の客離れ。教育への無関心さ
財政、教育
日常生活にかかわる情勢の整備
一日乗車券の廃止について
街づくりに関する現状の公開や住民（あらゆる世代）が参加する機会が少ないためもっとひらいてほしい
子育て支援など

[<<] 1 [>>] 全15件中1件目～15件目

CSV出力

[MENU](#) > [一覧](#) > [回答一覧](#) > [回答詳細](#) > フォームテキスト統計

マルチフォーム統計情報

フォーム内容

タイトル	アンケートにご協力をお願いします
概要	公共の授業での2箇月間の取組、お疲れ様でした。 今回の取組は、まちの将来を担う高校生の皆さんが身近な社会課題について考える機会を持つことで、行政を身近に感じたり、社会課題に関心を高め市民参加につなげることを目的として、試行的に実施したものです。 皆さんの意見が今後の展開を考えていくうえで大変貴重なものとなります。今後の参考とさせていただきます。 ※設問1～5は、この授業を受ける前と後を比較してご回答ください
公開期間	2023年11月10日 00時 ～ 2023年12月01日 00時
発信組織	総合企画局／総合政策室／市民協働推進担当
発信者名	市民協働推進担当承認者

回答数：75

抽出条件：

回答内容

[<<] 1 [>>] 全22件中1件目～22件目

設問6

設問5で「そう思う」「まあそう思う」を選んだ方は、どのような活動に関心がありますか。具体的にあれば記載してください

具体的に記載してください

清掃活動
思うわけではない
子供向けのお祭り
お祭りの運営
青少年センターのボランティア活動に参加したいです
地域の清掃活動
地域のイベントの計画
地域の祭りのボランティアなど
ゴミ拾い、草むしり、地域猫への対応、ごみの分別よびかけ、ラジオ体操の実施
清掃活動など。特に有償であれば大学生になってから参加したい
地域のお祭り
伏見稲荷大社のお祭りのボランティア活動
祭り
交通機関とか
祇園祭の運営とか
交流することでたくさんの人と関われるから
参加してくれる人を楽しませられるようなイベント運営
清掃、お祭りやイベントのボランティア
イベント
だれでも特に用がなくとも寄れる場を作ること
文化的なことやものに関する活動
祇園祭などの祭りの準備や片付けなど

[<<] 1 [>>] 全22件中1件目～22件目

CSV出力

[MENU](#) > [一覧](#) > [回答一覧](#) > [回答詳細](#) > フォームテキスト統計

マルチフォーム統計情報

フォーム内容

タイトル	アンケートにご協力お願いします
概要	公共の授業での2箇月間の取組、お疲れ様でした。 今回の取組は、まちの将来を担う高校生の皆さんが身近な社会課題について考える機会を持つことで、行政を身近に感じたり、社会課題に関心を高め市民参加につなげることを目的として、試行的に実施したものです。 皆さんの意見が今後の展開を考えていくうえで大変貴重なものとなります。今後の参考とさせていただきますため、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。 ※設問1～5は、この授業を受ける前と後を比較してご回答ください
公開期間	2023年11月10日 00時 ～ 2023年12月01日 00時
発信組織	総合企画局／総合政策室／市民協働推進担当
発信者名	市民協働推進担当承認者

回答数：75

抽出条件：

回答内容

[<<] 1 2 [≥] [≥>] 全75件中1件目～50件目

設問8

行政の施策に、より一層市民の方に意見を言ったり、参加していただくために必要なことは何だと思いますか。自由にご記入ください

具体的に記載してください

京都市の課題についてもっと知ってもらう
身近に感じてもらう、言いやすい、参加しやすいと思ってもらう
市民が京都市の行政についてちゃんと理解する
意見箱をつくる
積極性
普段どのような施策が行われ市民にはどのように関わっているのか発信し、知る機会を作る
議員の数減らせばいい
もっと機会を用意することと、その機会があることを知ってもらうこと
なにか制作を行っていてもそれを知らないし、知る機会が少ないから宣伝などをして知ってもらうこと
現状を知ってもらい取り組みをする。目に入りやすい電車内のポスターや掲示板、ホームページでわかりやすくする。
まずは現状の課題点について知り、関心を持ってもらうことが必要だと思う。
もっと市民の意見の思う対策を聞くために政策コンテストとか開いてみたらいいんじゃないかなって思います。
多くの人に知ってもらうことが大切だと思う。
呼びかけ(知ってもらう)
どのような施策をしているのかなどが市民に分かりやすく、広く伝わるように宣伝する
市民が意見を出しやすい雰囲気と場をつくる。 出せる場があることを周知してもらう。
snsの活用
大人の方の参加に繋がる訳では無いけど、今回のような形で学生が地域の課題や取組について向き合う場面が設けられるのはいいと思った。また、私の場合その活動の内容を家族と話したので家族内で京都市について考える機会が出来た。
行政の施策について知る時間。時間が少ないと正確に伝わらないしわからないので、最大限の効率化をした、教えるのがうまい人による市民全員に対する授業。 そして、始めやすい取り組みを提示できる場所。
意見を言える場を設ける、その場のことを広める
市に対して意見を出せるハードルを下げるが必要になってくると思うので、今回のように学校の授業の一環で京都市の問題について触れるとともに、市役所の方や問題解決にかかわる人との交流をもつことがとても大切。
意見を伝えたとしても結局反映されることはないだろうと正直思ってしまうので、市民のこういう意見からこういう政策を始めましたみたいなのを具体的に発信して貰えたら、自分たちが参加しているという意識がめばえるし、意見を言ってみようと思えるようになると思いました。

活動を行っているだけでは駄目で、どれだけの人にそれを周知出来るか、広告やPRの力が必要だと思います
行政は遠い存在のように感じられてなかなか意見が言いづらかったりどうせ自分たちの希望は通らないだろうと思ってしまったりする人も特に高校生など未成年には多いと思うので、もっと行政の施策や活動を具体的に知る授業を各学校で行ったりして、身近で理解できる存在にすることが大切だと思う。
京都市民でさえ京都市のことをまだまだ知らないと思います。私も今回の授業を通して初めて知ったことがたくさんありました。まずは現状とその課題、今とられている対策など基本的なことを知れる場が増えればいいなと感じました。
半年に一度くらいの頻度で今回の授業のようなことを地域で年齢問わずに行えばいいと思う。いい案を発案したグループには報酬とかがあればよいのではないかと思った。
京都市を改善するための案を伝える意見箱のようなものをインターネット上などに設置する。誹謗中傷などになるといけないので、はっきりとした意見だけを通すように報告書のような感じで正式な文を書くようなフォームで実施する。
京都市の課題や、それに対する取り組みの現状などを発信する場を増やすべきだと思う。地下鉄などの公共の場をもっと有効に使うことも大事だと思う。
意見を言える・反映できることを、ポスターなどでいやでも目に入るところに掲示する 学校や会社単位で呼びかけるよう機関にお願いする
市の人がこんなことやってるよー大変だよーみんなの協力必要だよーっていうことをもっと市民に親身に伝えることだと思います
市民の声によって実際に改善した施策があると知ればより多くの意見が寄せられるようになるとおもいます。また、行政への施策への参加がどのような意味があるのかや、どんな利点があるかも知れるといいと思います。
意見箱の存在をもっと市民に知らせる 市役所の営業時間を変える(市民が働いてたり学校に行っていたら、仕事などを休まないと市役所に行けないから)
京都は大学生が多い街だと思うので、他県から来た学生などでも京都の政治に気軽に参加できるように取り組む →大学にそういうのを周知するポスターを張るとか
言い方が悪いかもしれませんが堅苦しいようなイメージや本当に実現してくれるの？という気持ちが市民にはあったりするので、手間がかかりますが市民が意見を言いたい時に言う目安箱スタイルではなく、市から意見を言う場を作れば来てくれるのではないかなと思います。
気軽に意見を言うようにしたらいいと思った
個性的なCM
市民の声をより聴きやすくするためのHPなどを作る 言いやすい雰囲気を作る
簡単に意見を入れやすいようなフォームを京都市関連のHPに設置する
クーポン付ける 回覧板に記載
政策が一覧になっていたり、カテゴリー別に簡単に見れる。
ポスターなど誰もが目に入るものを作ること
政治家に意見を言える会を開く
もっと意見を言いやすいような環境を作る
意見を気軽に遅れるようなファームを作るとか
この活動をして京都市の活動について調べるまで京都市が行っていることを何も知らなかったため、市民に京都市の活動が広く知れ渡るような工夫をすれば意見を言う機会にもなるから、HPだけで報告？するのではなく、他にも市民の身近なところで宣伝すると思う。
実際に市民の方の意見を取り入れることができるものは取り入れて、自分たちの意見を取り入れようとしている姿勢を市民の方に見せる
お金をかけて楽しそうなものにする
アナログの意見箱を設置する
意見箱を多く設置する。
ネット上のアンケートを作りそれを街中に宣伝する



MENU > 一覧 > 回答一覧 > 回答詳細 > フォームテキスト統計

マルチフォーム統計情報

フォーム内容

タイトル	アンケートにご協力をお願いします
概要	公共の授業での2箇月間の取組、お疲れ様でした。 今回の取組は、まちの将来を担う高校生の皆さんが身近な社会課題について考える機会を持つことで、行政を身近に感じたり、社会課題に関心を高め市民参加につなげることを目的として、試行的に実施したものです。 皆さんの意見が今後の展開を考えていくうえで大変貴重なものとなります。今後の参考とさせていただきますため、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。 ※設問1～5は、この授業を受ける前と後を比較してご回答ください
公開期間	2023年11月10日 00時 ～ 2023年12月01日 00時
発信組織	総合企画局／総合政策室／市民協働推進担当
発信者名	市民協働推進担当承認者

回答数：75

抽出条件：

回答内容

[<<] [<] 1 2 [>>] 全75件中51件目～75件目

設問8

行政の施策に、より一層市民の方に意見を言ったり、参加していただくために必要なことは何だと思いますか。自由にご記入ください

具体的に記載してください

まず地域の問題を自分で体験して苦しみを味わうこと。
意見の言いやすい制度が知れ渡っていることだと思います。現代なら、検索したら京都市意見箱みたいなものが出てきて、Yahoo知恵袋みたいな感じになってたら良い気がします。
具体的に日程を決めて会議をするみたいな感じだとやる気が起こらないので、意見箱みたいなものでもサイトでもあったら、やろうかなとは思う
何らかの形で、意見を述べておられる方は多く存在すると思います。それを探しコンタクトをとるかしないかだと思います。
クイズ形式で考えてもらうなど身近に考えてもらう
コンビニなどに投票施設を作って気軽に投票できるようにする。投票率をあげる。
若い人の意見や、少数派の人の意見が反映されるという意味では必要なことだと思うけど、最近は少数派の意見の人の主張を取り入れようとしすぎて、ただの文句や不満を述べている人が多くなってきていることがよくないと思う
今回のように学校と提携して社会の時間に京都市の課題を解決するためにはどうしたらいいかを考える。また、保護者の方の意見も取り入れられるような仕組みも作れるとより良い案が出てくるのではないかな。
市民が行政の施策を知ることが必要。
クーポン配る
京都市の抱える様々な問題を解決するための政策を発表するコンテストを開いたり、施策が決まるまでの過程を見える化するなど、遊び心があり、親しみやすいものにする
京都市が様々な施策を行っていることで知らないことが多かった、ほとんど知らなかったので、市民に何を行っているかを発信することが必要だと思う。
もっと行政の施策を発信して身近に感じれるような工夫
何をしているかを大きく取り上げること
無理やりにでも考えさせる機会をつくること。
軽い愚痴などをTwitterなど言いやすいプラットフォームで言ってもらい、行政がそれを拾う。
地元の小中学校の方に施策の協力を提案して、授業の一環や学校行事にしてもらって存在を知ってもらう機会を増やすこと。
最初にもらった冊子に乗っている内容を公共交通機関に掲示することで、目にする機会を増やす。
人がルールを守る
今回の活動を行う上で、初めて行政の施策を知った人が多かったので、市民が把握できるよう、まず行政がどのような施策を取っているかを市民に発信していくことが必要だと思う。
まちづくりに関して意見を出したり、考えたりする機会（特に休日で人が多く集まる場所）を作り、多くの人々に広報を行ったり、実際に0から10まで市民が行うような取り組みをおこなう。どんなことをやるときでも、一方的な主張を言い続けるのではなく、自由な雰囲気をつくり、なんでも一度受け入れる場でなければいけないと思う。また、まちづくりに関する会議や祭

りの取り組み等を開催・管理をしているのが例年通りの人々目つ高年代が多いため、学校などの様々な立場の人が集まる場でも取り上げるべき。

私は今回このようなテーマで活動を行わなかったら京都市が行っていることを知ることが出来なかったと思うのでまず多くの人に知ってもらうことが大切だと思いました。なのでこのような授業が西京だけでなく他の学校でも増えていくといいなと思いました。

京都市が市民個人の意見を求めていることをもっと伝えること

Twitter（x）などの身近なSNSで行政に対する意見をかんたんに伝えられたらいいと思います。膨大な数の投稿になってもよく使われている言葉をAIなどでピックアップすればわかりやすくなると思います。小さな不満なども逐一投稿してもらうことで今まで見えていなかった課題が見つかるかもしれないと思いました。

インターネットで専用のページをつくって、京都市のページで宣伝する

[MENU](#) > [一覧](#) > [回答一覧](#) > [回答詳細](#) > フォームテキスト統計

マルチフォーム統計情報

フォーム内容

タイトル	アンケートにご協力お願いします
概要	公共の授業での2箇月間の取組、お疲れ様でした。 今回の取組は、まちの将来を担う高校生の皆さんが身近な社会課題について考える機会を持つことで、行政を身近に感じたり、社会課題に関心を高め市民参加につなげることを目的として、試行的に実施したものです。 皆さんの意見が今後の展開を考えていくうえで大変貴重なものとなります。今後の参考とさせていただきます。 ※設問1～5は、この授業を受ける前と後を比較してご回答ください
公開期間	2023年11月10日 00時 ～ 2023年12月01日 00時
発信組織	総合企画局／総合政策室／市民協働推進担当
発信者名	市民協働推進担当承認者

回答数：75

抽出条件：

回答内容

[<<] 1 2 [≥] [≥>] 全75件中1件目～50件目

設問9

その他、今回の授業全体を通じてのご感想やご意見など、自由にご記入ください

具体的に記載してください

自分たちの発表に意見をもらえてもっと視点が広まった気がします。
なし
新たな視点から京都市を見直すことができてよかったです
とてもいい授業だった
たのしかた
普段中々できない機会を得ることが出来てすごくためになったと思いました。様々な情報を集めて主軸に沿いながら考える力がついたなと思います。またこのような場があれば是非参加してみたいです。
京都市の職員の説明の時間まじ無駄
自分の住む町について自分の手で課題解決に取り組むことが出来てよかった。
課題であるだろうなと思っていたが放置していたけど、それについて考えてみてやはり問題を解決するために市民の人達が協力していくことが大切だと思った。
解決策を考えるのが特に難しかったです。どんなことが現実的に可能であるかがわからなかった。
自分たちで調べただけではわからなかった課題点や、政策について京都市の方にコメントしてもらうことができて、学びになったし、面白かった。
自分の生活のことに関わることなのでしっかりやることに意義を感じたし、十分に頑張れたと思う。ガチのフィードバックとかあったら嬉しいのになって感じです。
改善策を考えるのは難しいと感じた。
観光課題は、課題としてあるのは知っていたけど、それについて何かするということは無かったので、今回に考える機会を得られてよかったです。
京都市がどんな政策を行っているのかを知れたし、それを超える案はないのか考えることが出来た
今までしたことない経験で楽しかったです。 学校内で完結させるんじゃなくて、実際に京都市と繋がっての発表はいい経験になりました。
京都市の問題点について考えるきっかけになった
正直、すぐに思いつくような解決策ならやっているし、規模が大きいからこそ難しいなと思いました。ただ、京都駅の混雑などはそういうものだと受け入れてしまっていた部分があるので、そこに疑問を持つという新しい視点を得られたのは良かったと思います。
結構面白かった。僕たちの考えをどれだけ大人の人が受け入れて考慮してくれるかでこれからの学生の市に対する姿勢が決まってくると思うので頑張ってほしいです。
費用の問題は私たち高校生には難しかったけど、自由にアイデアを出してどうしたら実現が少しでも近づくか意見を出し合うのは楽しかった。

有意義な活動だったと思います。ありがとうございました。
自分たちで考えたのを授業内学校内で完結させるのではなく、実際に京都市の方やいろんな大人に聞いてもらえて、私たちの意見が少し伝わったような気がして嬉しかったし、いろんな観点からフィードバックをもらえて凄くなるほどと思った。観光対策を仕事にしている方の意見とか視点ってやっぱり違ってすごいなと思った。
質問や意見などとても鋭くて的確なものばかりで刺激を沢山受けました。
もともと京都は住んでいる地域なのである程度課題に興味はあったけれど、ここまで具体的に考えたのは初めてで、自分たちが考えた案に対してアドバイスや意見もたくさんもらえて、とても貴重な経験になったと思う。
普段の授業だったら、アイデアを出しておわりだったのがそれを発表というかたちで多くの方に共有することができたので非常に有意義であったと思います。
解決案を出すのは簡単だけど、それによって生じる問題をどう対処するか考えるのが難しかった。
京都市の問題を考えるよいきっかけになりました。実際通学などで混雑かなり嫌な問題で、もっと人の少ない電車に乗りたいと思うけど、観光客が多い以上仕方ないのかなと思う。
同じようなテーマを扱っている京都市役所の方ともっと話をする場が欲しかった。
問題があるなあという意識すらもなかったのが、その意識が芽生えて生活の中でそれについて考える機会ができた。これが実際に役立つかはわからないけれど、そうやって考える習慣がこれをきっかけに続けば国民の一人として政治参画に積極的になれるといいんじゃないかなと思う
貴重な体験でした。自分で課題解決を考えることもそうだけど、それに対する現実的な回答をもらえるのがよかった
身近な京都市の問題について解決策を考えるということで数週間いろいろ調べたり話し合ったりしていました。漠然と社会問題に取り組むよりも今回のような実際に則したものは良かったです。
本物の役所の人にお話を聞けて良かったです。
今回の授業で初めて京都市が観光客向けにホームページなどを運営していることを知った。もうちょっと宣伝してもいいのかなと思った。
京都の観光課題はざっくり知っていたけど、詳しく何が課題で実際に京都市がどういうふうな政策をしているのか知らなかったのが今までより詳しく知れたし、自分たちで解決方法を考えることで身近な問題として考えることができたので良かったです。
京都について見直すことができた気がする。
おもしろかった
実際の詳しい京都市の観光課題を調べ考えることができて面白かった
自分の身近な地域に注目するいい機会だったと思います
課題が身近になった 日々いろんなものに触れて課題の解決について考えたい
京都市のことを調べて、自分たちの意見を持ててよかった。また、それを京都市の方に聞いてもらえて、達成感があった。
住んでても全く知らない施策、イベントなどがあって驚いた。
楽しかった
今起こっている京都市の課題を知っていたが、その解決策については初めて考えたのでいろんなことを考慮しながら解決策を考えるのは難しかった
今回の授業では京都市の観光課題について詳しく知れたし、それについての策を考えてすごく面白かったです。ありがとうございました。
楽しかった
専門の部署の人からのアドバイスや指摘は、自分たちにはなかった視点からの意見もあり刺激になった。
京都の実際の事情などを調べてそれについて考えていくのは少し楽しかった
京都市バスは混雑しすぎていると改めて分かった。観光客より市民生活を優先できない京都に未来はないと思う。
課題の解決方法を考えるのは、難しかったが具体的なアドバイスなどももらえてよかった。
理想の京都市とその実現にかかる費用などを考えることで京都市の現状を少しわかった気がした。

[MENU](#) > [一覧](#) > [回答一覧](#) > [回答詳細](#) > フォームテキスト統計

マルチフォーム統計情報

フォーム内容

タイトル	アンケートにご協力お願いします
概要	公共の授業での2箇月間の取組、お疲れ様でした。 今回の取組は、まちの将来を担う高校生の皆さんが身近な社会課題について考える機会を持つことで、行政を身近に感じたり、社会課題に関心を高め市民参加につなげることを目的として、試行的に実施したものです。 皆さんの意見が今後の展開を考えていくうえで大変貴重なものとなります。今後の参考とさせていただきます。 ※設問1～5は、この授業を受ける前と後を比較してご回答ください
公開期間	2023年11月10日 00時 ～ 2023年12月01日 00時
発信組織	総合企画局／総合政策室／市民協働推進担当
発信者名	市民協働推進担当承認者

回答数：75

抽出条件：

回答内容

[<<] [<] 1 2 [>>] 全75件中51件目～75件目

設問9

その他、今回の授業全体を通じてのご感想やご意見など、自由にご記入ください

具体的に記載してください

京都市の問題について深く考えた。
私たちが住みやすいように京都市のみなさんがいろんなことをしてくれていたのに、全然知りませんでした。この活動で難しいのは、対策を考えることよりも、それを周知することなのかもしれないと思いました。
解決策を考えても、またそれに新たな課題が生じて、それを改善しようとするともた問題がでてくるというくりかえしで、とても難しかったです。でも、これや！っていう解決策を見つけた時の爽快感はとても気持ち良かったのでやりがいがありました。
色んな視点から1つの問題について考えてその先についても考えるという貴重な機会をいただけて幸いです。
普段は考えないので観光課題について考えるいい機会になった。しかし、政治に興味がわいたとは言えなかった。
色々な大人の意見を聞いて良かった。
自転車道の整備をお願いしたいです
市の施策について全然知らなかったのですが、今回初めてこのような活動を通してどのようなことを行われているのかを知ることが出来ました。京都市に住んでいると当たり前風景になっていることが、課題として認識しなすことで新しい考え方を得ることが出来ました。面白かったです。
普段では興味を持つことが無かった施策に興味を持つことができてよかった。観光地を普段とは違う視点で見ることができるようになった。
行ってみてよかったと思う
そもそも知らなかった課題などもあったので、よく知れる機会になった。 実際に場所に行ったり京都市の考えている現在の政策などをもっと知りたいと思った
今まで京都市の行政について考えるという機会がなかったが、今回このような機会に恵まれ、今現在、何が京都で問題になっていて、それに対応して何が行われているのかを考えることができ、面白い体験になった。
解決策を考えるのが楽しかった。食べられる器を紹介させてもらったのですが、思っていた以上に好評で実際に活用されたいいなと思いました。
京都市が行っている政策を初めて知ったがすべて保守的であり、斬新な発想をしてみた方がいいと思った。その結果、驚いてもらえてうれしかった
楽しかったです。実際に反映されて自分たちにも町を変えることができるのかと実感できたらもっと嬉しいです。
楽しかったです！！！！
今回の授業を通して自分たちで作ったパワボや発表を聞いてもらって、大人の人に意見をもらうという体験ができて良かったなと思いました。高校生の自分では考えきれなかった視点からの指摘やアドバイスを得ることができて、考えの視野が広がったなと思いました。
今回の授業ではじめてバス停などのライブ配信をしていることやLUUPと協力して広めていることを知ったので、京都に住んでいても知らないことは多いなと思いました。日本の全体的な合成の活動はニュース等で見るが、京都の細かい行政の活動はあま

り知らないなと思いました。
とくになし
今まで考えなかった大切なことに触れる良い機会となりました、ありがとうございました。
一つの課題に対して答えを出すのは可能であるが、他の問題も関わってくるとなると改善案を出したとしても他の問題を引きおこす可能性があるため、なかなか行動を起こせないなと感じた。
ゴミ箱が新たに設置されるようにしてくれているなどを知れて良かったです。問題を解決するためにはアイデアが必要なだけでなくそれを現実可能にするために費用や場所協力など多くのことが必要であることを感じました。
どのような発表内容であっても熱心に聞いてくださり、人前で話すのが苦手な私でも落ち着いて発表できました。ありがとうございました。
実際にある課題に対して自分たちでどうにかできないか考えてみるのは楽しかったです。 他の学校の先生に見てもらった際にたくさん質問していただきそこから改善するチャンスがあったことでより良い案を考えたいと思えました。 今回は案を考えただけだったけれど、これを実現するにはなにが必要なのか、なども学べたらより実践的だと感じました。 期間限定でもいいのでいい案があったら実現してみることができるといいなと思います。 ありがとうございました！
京都市の観光問題について考えることができた

[<=<] [<] 1 2 [>>] 全75件中51件目～75件目

CSV出力